企画セッション

◆ 査読を通る研究論文の書き方―知財学会誌投稿へのススメ ◆

【概　要】

知的財産に関する研究成果を広く発信するために、学会誌への論文投稿は重要な研究活動の一つである。しかし、優れた内容を有していても、論文としての構成や先行研究の整理、研究課題の設定方法、分析手法の記述、あるいは査読コメントへの対応方法などに課題があり、採択に至らないケースは少なくない。また、査読制度に馴染みのない研究者や実務家にとっては、査読者からの指摘への対応そのものが大きな障壁となることもある。

本セッションでは、日本知財学会誌の編集業務や査読に携わってきた研究者・元編集委員が登壇し、法律、経営、経済の各分野における研究論文執筆のポイントを解説する。査読においてどのような点が評価され、どのような点が問題視されるのか、研究課題の設定や先行研究レビュー、分析・考察の方法、投稿前に確認すべき事項は何かといった実践的な知見を、それぞれの学問分野の視点から紹介する。

さらに、査読事例を素材としたパネルディスカッションを行い、不採択となる典型的な理由や、査読コメントを踏まえてどのように論文を改善すれば採択につながるのかについて具体的に検討する。査読者は何を見ているのか、投稿者はどのように査読コメントを読み解き、どのような姿勢で修正に臨むべきなのかについて、編集・査読の実務経験に基づく率直な議論を展開する。

知財学会誌への投稿を検討している大学院生や若手研究者はもちろん、実務家や他分野から知財研究に参入しようとする研究者にとっても、論文執筆力と査読対応力を高める貴重な機会となることを本セッションでは目指す。知財学会誌への投稿に関心を有する多くの方々の参加を期待する。

【講演者】

山内 勇（明治大学情報コミュニケーション学部教授／日本知財学会誌編集委員長）
西村 陽一郎（中央大学商学部准教授／元日本知財学会誌編集委員）
内田 剛（東海大学法学部准教授／日本知財学会誌編集委員）

以　上